

ごみ減量新施策の検討に係る調査業務委託 仕様書

1 委託業務名

ごみ減量新施策の検討に係る調査業務委託 仕様書

2 目的

平成22年3月に策定した「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プランー京都市循環型社会推進基本計画（2009－2020）」（以下「ごみ半減プラン」という。）に掲げる、平成32年度のごみ量をピーク時と比べて半分以下の39万トンとする目標の達成に向けて必要な施策を検討するための調査を実施する。

※ 検討趣旨・スケジュールについて

第52回京都市廃棄物減量等推進審議会 資料1の検討項目（1）「ピーク時からのごみ半減」の実現に向けた新たな施策の在り方 参照

URL：<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000158/158036/02siryoul.pdf>

3 履行期間

契約締結の日から平成27年3月31日まで

4 委託業務の内容

(1) ごみ量の現状分析

既存の統計書や文献等により、ごみ量に影響を与える経済動向・社会動向を表す項目について調査を行い、他都市（政令指定都市を想定）や国のごみ量の増減の傾向と比較分析するなど、それら項目とごみの発生との関係について分析を行う。

（主な調査項目例）

人口、世帯数、世帯人員数、高齢化率、消費動向、家計動向、工業・商業統計、事業所・企業統計、昼間人口、観光客数、景気動向（C I、D I等）、市内総生産等

(2) ごみ減量施策の事例調査

自治体によるごみの減量・分別施策について調査し、特に効果的で、本市の参考になり得ると考えられる特徴的なものを、家庭ごみ、事業ごみについて、各5つ程度情報収集する。

(3) 具体的施策の検討及びごみ量・ごみ質の将来予測

本市のごみ量・ごみ質の実績データを整理するとともに、人口等の関連指標の将来予測や、具体的施策とその効果の検討を行い、それらを活用して、ごみ量・ごみ質、焼却ごみカロリー、焼却灰量、温室効果ガス排出量等のごみ処理に関する基礎データの将来予測を行うためのシミュレーション用データファイルを、エクセル形式で作成する。

(4) 京都市廃棄物減量等推進審議会資料及び「ごみ半減プラン」（見直し後）に使用する、本市が作成する図表の元データを整理する。

(5) 調査報告書の作成

(1)から(4)までの調査結果を取りまとめた報告書を作成する。

5 成果物

(1) 調査報告書

チューブファイルで綴じた紙媒体2部及び電子データ一式

※ 電子データは、CD-Rに記録して納品すること。電子データのファイル形式は、ワード・エクセル・PDF・JPEG・TIFFとし、その他のファイル形式を用いる場合は協議の上決定すること。

(2) 審議会資料及び「ごみ半減プラン」に使用する図・表の元データ

※ 図・表そのもののデータに加え、編集可能なエクセル等の形式の元データも納品すること。納品方法は「(1) 調査報告書」の電子データと同様とする。

6 留意事項

- ・ 本市担当職員との連絡を密にして業務に当たること。
- ・ 業務の進捗状況については、本市担当職員と協議し、その指示に従うこと。
- ・ 本業務の実施により得られた成果は、京都市に帰属する。
- ・ 本仕様書に疑義が生じた場合は、本市担当職員と協議し、その指示に従うこと。また、協議の結果を記した書面を本市に提出すること。

(関連資料)

第52回京都市廃棄物減量等推進審議会 資料 <http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000158036.html>

京都市循環型社会推進基本計画 <http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000077/77508/ProcessingPlan.pdf>

同行動計画 <http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/cmsfiles/contents/0000077/77508/ActionPlan.pdf>